

報告書〔4〕分析結果及びフローシート

2. 水質試料(1.フタル酸ジ-n-ブチル)

分析実施機関名	機関コード	国際的な認証の取得 注1)	1. ISO 9001-9003 2. ISO 14001 3. ISO/IEC 17025 (G17'25) 4. なし
分析主担当者名	分析主担当者の経験年数	年	分析主担当者の実績(試料数) 検体

注1)複数回答可

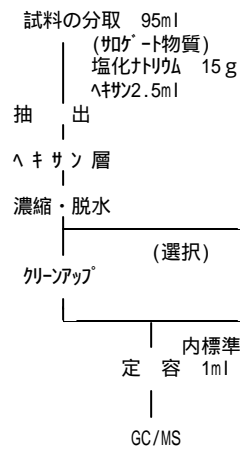
注2) 分析結果 ($\mu\text{g/l}$)	標準偏差 ($\mu\text{g/l}$)	測定回数 (回)

分析開始日	月	日
分析終了日	月	日

注2)有効数字3桁で記入する。なお、2回以上の測定を行った場合は、平均値を記入する。また、実施要領5(1)の希釈方法に従って調製した分析試料中の濃度を記入する。

なお、一旦受領した結果については、訂正があっても受け付けませんので、記入間違いや単位間違い等に注意してください。

<溶媒抽出-GC/MS法>



<分析法等>

分析法 注3)	溶媒抽出-GC/MS
試料量	9.5 ml 注3)
抽出溶媒の種類	ヘキサン 2.5 ml 注3)
抽出回数	1回 注3)
最終定容量	1 ml 注3)
濃縮方法	窒素ガス 注3)
クリーンアップ	1. 加ジメチルシリカ 2. GPCカラム 3. 実施しない

注3) 推奨方法とおりに操作する。

<分析条件>

注入量	() μl
機器型式(GC)	メーカー() 型式()
機器型式(MS)	メーカー() 型式()
測定質量数 GC/MS	()
装置型式	1. 単収束 2. 二重収束 3. 四重極 4. イオントラップ 5. その他
イオン検出法	1. SIM法 2. スキャン法
カラム型式	メーカー() 型式()
カラム形状	内径() mm 長さ() m 膜厚() μm
カラム昇温条件	初期温度 _____ 保持 _____ 分 / 分 ~ _____ / 分 ~ _____ / 分 最終温度 _____ 保持 _____ 分
キャリアガス条件	1. N_2 2. He 3. その他 () ml / 分
試料注入部温度	()
試料注入方法	1. スプリット 2. スプリットレス 3. コールドオンカラム

<検量線の作成等>

定量方法	1. 絶対検量線法 2. 標準添加法 3. 内標準法 内標準物質 種類名 1. 4-クロロトルエン- d_4 2. ナフタレン- d_8 3. ビフェニル- d_{10} 4. フェナントレン- d_{10} 5. フルオランテン- d_{10} 6. クリセレン- d_{12} 7. ペリレン- d_{12} 8. その他() 添加量() ng
試薬(標準原液)	1. 購入 2. 自作 1. の場合メーカー()
検量線	作成点数() 範囲() ~ () 単位 1. ng(注入量) 2. mg/l(濃度) 最高濃度のピーク高又は指示値()
試料溶液	ピーク高又は指示値()
空試験 注4)	ピーク高又は指示値()
ガジェット物質の使用	1. 使用していない 2. 使用する ガジェット物質 種類 1. フタル酸ジ-n-ブチル- d_4 2. その他() 添加量() ng
検出下限値	() $\mu\text{g/l}$

注4) 水について、試料と同様に操作する。

<分析実施にあたっての留意した点及び問題と感じた点>

試料溶液の調製について	-----
測定方法について	-----
空試験値を低くするために留意した点について	-----

<計算式>